

東京都算数教育研究会

団体の概要

東京都算数教育研究会(都算研)は、昭和 25 年(1950 年)に発足し、初代会長には千代田区立永田町小学校長であった山内俊次先生が就任された。以来、都内全ての区市町村の算数部員の研さんと努力を結集し、その成果を東京都の子供に還元すべく、東京都教育委員会からの認定を受け、会員の献身的な取り組みによって活動を発展させてきた。

右のピンバッジの中にあるカラフルな 4 つの三角形は都算研のシンボルマークである。この三角形は、「数学的活動」を中心に「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を表している。



都算研のピンバッジ

円の中にレーローの三角形を位置付け、その中に「校舎」「先生と子供たち」「都算研シンボルマーク」を効果的に配置した斬新なデザインが特徴となっている。

研究テーマ **数学的に考える資質・能力を育てる指導と評価の在り方**

本研究会では、過去 20 年以上にわたって、「数学的な考え方」や「数学的な思考力・表現力」の育成に焦点を当てて研究に取り組み、成果を上げてきた。今回の学習指導要領改訂に伴い、算数科で育成を目指す資質・能力を学習指導要領が示す 3 つの柱から捉え、更なる指導の改善・充実を図っていく。

組織と活動内容

- 研究部：研究内容は発表会や成果物に示し、子供のための指導に還元する。
 - ・研究委員会：今日的な教育課題に焦点を当てて研究を推進する。研究委員会の研究主題は「数学的に考える資質・能力の『評価』の在り方に関する一考察」
 - ・授業研究委員会：年間 6 回の研究授業を公開、教材の本質を極める授業を提案
 - ・実態調査委員会：都内全小学校に学力実態調査を提供、結果を集計・考察する。
 - ・資料委員会：学力実態調査結果の考察に基づいた指導改善の資料の作成・検証
- 発表部：研究発表や広報を担当する。
 - 研究発表会は毎年 10 月に行い、区市町村の各算数部からの公募を含む 6 つの授業提案や研究部の研究発表を行う。
- 編集部：会報や紀要の編集・発行を行う。



令和元年度 目黒区立八雲小学校での発表会

- 育成部：研究員を組織し人材の育成を行う。
- 庶務部：庶務全般を担当
- 会計部：会計を担当
- ◎ 詳しい研究の成果については、研究紀要や都算研のホームページ [<http://tosanken.main.jp/>] をご覧ください。

代表者：東京都算数教育研究会会長
台東区立浅草小学校校長 大石京子
連絡先：東京都算数教育研究会研究部長
品川区立御殿山小学校校長 勝進亮次
TEL 03-3441-0814